

緊急セミナー NPO 法人市民科学研究室 + babycom 共催

放射線リスクの とらえ方・減らし方

～汚染の長期化をみすえ、妊婦と子どもへの対策を考える～

2011年 4月9日 (土) 午前 10:00～12:20 (9:30 開場) 資料代: 500 円

向丘地域活動センター和室A+B 文京区西片 2-19-15 tel.03-3813-6668

(地下鉄南北線「東大前」駅1番出口を出て、左手の信号を渡って南下して交差点の方へ。会場まで徒歩1分。)

◆babycom 会員の方が優先で、事前申し込みが必要です(定員50名)。授乳、おむつ替えのスペースを設けています。◆

福島第一原発の事故が長期化し、避難や屋内待機の範囲も拡大する恐れがあります。シーベルトやベクレルという単位を用いた汚染のデータが刻々と私たちの耳に飛び込んできていますが、それらをどうとらえて的確な対策に結びつけるのかが示されないまま、「ただちに健康に影響するものではない」などと繰り返され、市民の間には不安が広がる一方です。この講座では、特に妊婦さんや子どもへの影響に焦点をあてて、放射線リスクのとらえ方の基本を解説しつつ、多くの人が抱く不安や疑問をにどう対処できるかを、babycom の会員の方々と一緒に考えます。

●講師●

上田 昌文 (NPO 法人市民科学研究室・代表)

babycom のサイトでは数年にわたって「ecology」のコーナーを担当し、電磁波をはじめとする、健康リスクに関わる様々な問題を論じてきた。チェルノブイリ原発事故を契機に、核被害や放射線の問題にも目を向けてきたが、数年前から市民科学研究社の「低線量被曝研究会」を立ち上げて、仲間とともに調査研究にあたってきた。その最近の成果が報告書『原爆調査の歴史を問い直す』(270ページ)としてまとまったばかり。



お申し込み ならびに お問い合わせは babycom までお願いします
tel. 03-5475-5563 e-mail: office@babycom.gr.jp